記 者 発 表 資 料

平成２１年度 能代河川国道事務所の事業概要について

能代河川国道事務所は、「強く美しい秋田県北地域の創造」に向け、
当初予算　１２０億４２８０万円をもって
河川事業、道路事業を通じて地域づくりを支援します。

【予算の概要】

平成２１年度は、河川事業費　２３億　６８８０万円
道路事業費　９６億　７４００万円
合　計　１２０億　４２８０万円　の当初予算により、
強く美しい秋田県北地域の創造に向けて事業を進めます。

【主な事業の内容】

（河川）○ 米代川河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）
－ 河道掘削・築堤等の継続推進

（道路）○ 鷹巣大館道路　－　用地買収及び改良・トンネル工事の継続推進
○ 大館西道路　－　改良・橋梁工事の継続推進
○ 日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂(新直轄区間)
－ 改良及びトンネル工事の継続推進

○ 西扇田交差点改良　－　工事の推進・完成
○ 陣場視距改良　－　改良工事の継続推進

平成２１年３月３１日
国土交通省 能代河川国道事務所

発表記者会：能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　能代河川国道事務所
能代市鰄渕字一本柳９７－１
TEL.０１８５－７０－１００１(代表)
【河川関係】副所長　山谷（やまや）　博志（ひろし）（内線204）
【道路関係】副所長　斉藤（さいとう）　文憲（ふみのり）（内線205）

平成２１年度　能代河川国道事務所の事業概要

事業推進のキーワード　「**環境**の保全」「地域との**情報**の共有」「**コミュニケーション**」

能代河川国道事務所は
「平成１９年９月洪水の緊急的な治水対策の推進」（河川事業）
「強い県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保」（道路事業）
を事業テーマとし、秋田県北地域を管内に河川事業と道路事業を通じて、
「強く美しい秋田県北地域の創造」に向けて事業を進めます

当初予算の事業費内訳（単位：百万円）

【河川関係】

内容	H20当初	H21当初	H21/H20
改修	131.5	192.0	1.5
災害復旧(復緊)	2,180.0	1,500.0	0.7
維持修繕	660.8	645.0	1.0
応急対策	35.2	31.8	0.9
環境整備	43.0	―	―
災害復旧	114.2	―	―
河川関係合計	3,164.7	2,368.8	0.7

【道路関係】

内容	H20当初	H21当初	H21/H20
改築	7,432.0	4,440.0	0.6
改築(新直轄)	3,750.0	3,000.0	0.8
維持修繕	863.0	719.0	0.8
沿道環境	135.0	125.0	0.9
事故重点	597.0	295.0	0.5
交通安全	425.0	774.0	1.8
雪寒	415.0	321.0	0.8
道路関係合計	13,617.0	9,674.0	0.7

能代河川国道事務所計	１６，７８１．７	１２，０４２．８	０．７

１．河川事業の概要
～「平成１９年９月洪水の緊急的な治水対策の推進」～

《　米代川河川災害復旧等関連緊急事業　》

平成１９年９月１７日の豪雨により、米代川全川ではん濫危険水位を越え、各地で甚大な被害を受けました。

このことから、米代川本川においては「河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）」を支川阿仁川「災害復旧助成事業（秋田県）」と上下流一体となって、家屋への浸水被害の軽減を推進します。

この事業は、平成１９年１１月に事業採択されており、平成２２年度の完成を目指します。

米代川河川災害復旧等関連緊急事業 【ｐ５】

平成２１年度は、河道掘削（能代市）及び家屋浸水対策（築堤等）（能代市二ツ井町）において、平成２０年度に引き続き実施します。

《　米代川河川改修事業　》

堤防の浸透に対する安全のための詳細調査検討等、河川調査を継続して実施します。

《　米代川河川維持修繕事業　》　【ｐ６】

米代川の国管理区間の７５．６㎞について、大雨や雪解け時の出水による洪水に備えて、堤防・護岸・水門等の維持修繕を行います。さらに、河川空間および環境の向上のため、堤防除草や堤防上面の補修等を行います。

また、良好な河川環境を創出することを目的に周辺地域と一体となって、親水等の河川利用の推進を図るため、階段護岸（大館市比内町）を整備します。

《　米代川河川工作物関連応急対策事業　》

河川工作物において工作物点検を実施し、変状等が確認された箇所について応急対策を行います。

２．道路事業の概要

～「強い県北地域の創造と地域生活の安心安全の確保」～

《　改築事業　》

強い県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保に向け、空港･港湾のカバー圏拡大、域内･域外交流の促進、第三次救急医療施設カバー圏の拡大、道路のネットワーク化による迂回路確保、国道７号の負荷低減による沿道環境の改善等に効果のある高規格幹線道路等の整備を進めます。

一般国道７号　鷹巣大館道路（たかのすおおだて）　（北秋田市～大館市）【ｐ７】

・北秋田市脇神（わきがみ）～北秋田市栄間（きたあきたしさかえ）　延長５．６ｋｍ

平成２１年度は用地買収の継続推進を図ります。

・北秋田市栄～大館市櫃崎（ひつざき）間　延長８．３ｋｍ

平成２１年度は改良工事の継続推進及び摩当山トンネル（延長３，３３６ｍ）の掘削巻立の継続推進を図ります。

一般国道７号　大館西道路（おおだてにし）　（大館市）【ｐ８】

・大館市櫃崎～大館南ＩＣ間　延長２．６ｋｍ

平成２１年度は、改良工事の継続推進を図ります。

・大館北ＩＣ（仮称）～大館市商人留（あきひとどめ）間　延長１．６ｋｍ

平成２１年度は、改良工事の継続推進及び橋梁２箇所（釈迦内こ道橋：延長１０３ｍ、釈迦内こ線橋：延長１６３ｍ）の継続推進を図ります。

《　改築事業（新直轄）　》

日本海沿岸東北自動車道　大館北（おおだてきた）～小坂（こさか）　（大館市～鹿角郡小坂町）　延長１４ｋｍ【ｐ９】

平成２１年度は、改良工事及びトンネル２箇所（大茂内第二トンネル：延長２，９８８ｍ、雪沢第一トンネル：２，５５３ｍ）の掘削巻立の継続推進を図ります。

《　直轄道路維持修繕事業　》

一般国道７号（管理区間Ｌ＝１２２．０km：琴丘能代道路17.4km、大館西道路5.9km含）の道路を保全し、道路交通の安全と円滑化を図るため日常の維持管理、重要構造物の修繕など道路の機能を保持します。

また、拠点間のネットワークを確保のため、これまでの震災や災害等を踏まえ点検した結果を元に、対策が必要な箇所の整備実施を図り、防災・震災対策（二ツ井高架橋等）を推進します。

《　沿道環境改善事業　》

沿道の良好な環境を確保するために、三種町鵜川地区において高機能舗装の修繕を行います。

《　交通事故重点対策事業　》

交通事故の多発区間の交通の安全を確保するために、交差点･線形等の改良、標識の整備、区画線･防護柵等の設置を行います。

一般国道７号　西扇田（にしおうぎだ）交差点改良　（能代市）【ｐ１０】

平成２１年度は、工事を推進し完成を目指します。

《　交通安全施設等整備事業　》

交通事故の発生箇所、渋滞箇所等交通の安全を確保するために、交差点･線形等の改良、通学路区間等の歩道設置、わかりやすい標識の整備、区画線･防護柵等の設置を行います。

一般国道７号　陣場視距（じんばしきょ）改良　（大館市）　延長１．０ｋｍ【ｐ１１】

平成２１年度は、引き続き改良工事を継続推進します。

《　雪寒地域道路事業　》

冬期間の車道および歩道空間の確保のため、除排雪を実施するほか、防雪対策の設置をすすめる等、安全で快適な冬期交通確保を図ります。

事業名	米代川河川災害復旧等関連緊急事業 （秋田県能代市他）

事業着手：平成19年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

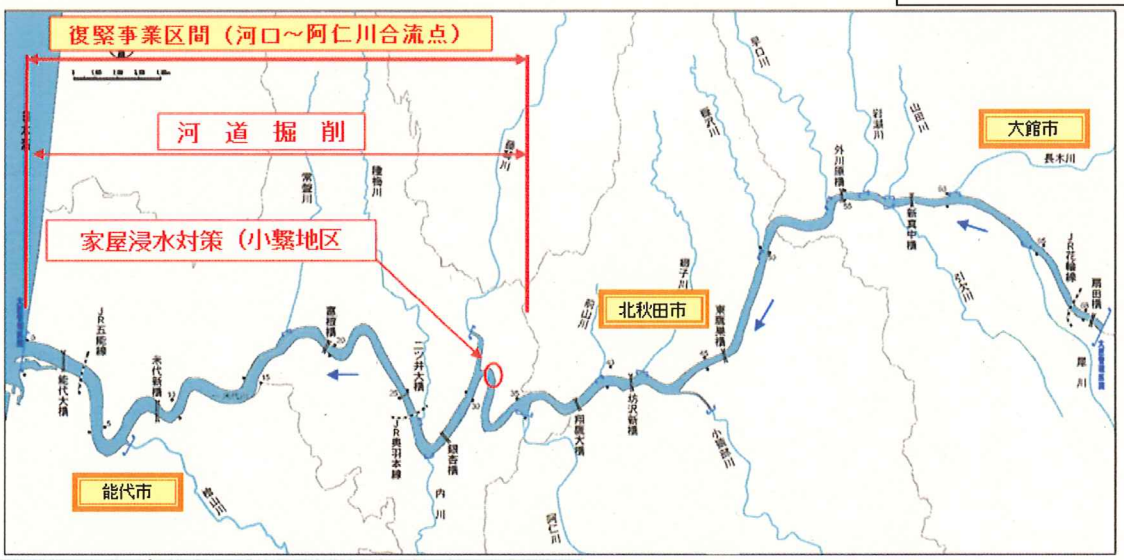


「事業の必要性」

平成19年9月、前線の影響による豪雨により、米代川全川ではん濫危険水位を越え、各地で甚大な被害を受けました。このことから、再度災害の防止を図るため、米代川における河川整備が緊急的に求められています。

「事業の概要」

米代川本川においては「河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）」を支川阿仁川「災害復旧助成事業（秋田県）」と上下流一体となって、家屋への浸水被害の軽減を推進します。この事業は、平成19年11月に事業採択されており、平成22年度の完成を目指します。











平成20年度に引き続き河道掘削を実施します。

河道掘削や築堤整備等により、平成19年9月洪水で浸水被害を受けた家屋の再度災害防止を図ります。

平成21年度事業費及び事業内容

○平成20年度に引き続き、河道掘削（能代市）及び家屋浸水対策（築堤等）（能代市二ツ井町小繋地区）を実施します。

事　業　効　果

○流下能力の向上が図られ、家屋の浸水被害の軽減が図られます。

事業名	米代川河川維持修繕事業 （秋田県能代市、北秋田市、大館市）

事業の概要



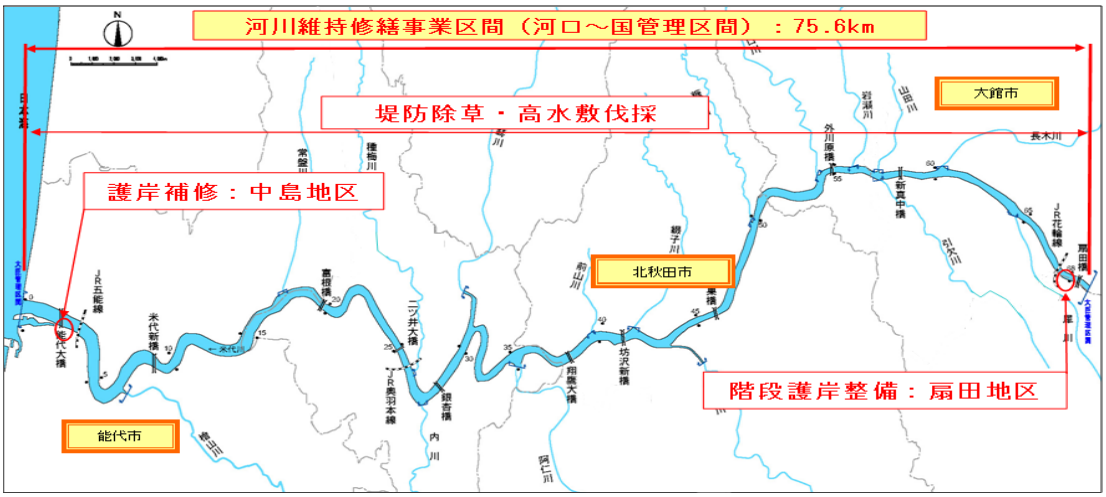
「事業の概要」

雪解けや大雨による洪水に備えて、河川管理施設（堤防・護岸・水門など）の維持修繕を行います。また、河川管理施設の点検や洪水時の流水阻害防止を目的に堤防の除草や高水敷（河川敷）の樹木伐採を行います。

「主な事業」

能代市中島地区は堤防構造がコンクリートによる特殊堤となっておりますが、コンクリートに亀裂や剥離が生じており、洪水時に堤防が危険な状態となる恐れがあることから補修を実施します。

また、洪水時に操作される水門ゲートを電動化することで、ゲート操作時の操作環境の改善や操作速度の向上を図ります。







堤防除草の状況



樹木伐採の状況

平成21年度事業費及び事業内容

○護岸の補修及び堤防の機能維持を目的に堤防除草や樹木伐採を実施します。また、地域の環境に配慮した護岸の整備を実施します。

事　業　効　果

○堤防を健全な状態に管理することで洪水時の堤防決壊等を防ぐとともに、地域住民の方が米代川に親しみやすい水辺が整備されます。

事業名	一般国道7号　鷹巣大館道路（直轄） （秋田県北秋田市～大館市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成20年代

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、三次救急医療施設の60分圏域カバー率の拡大及び、地域産業の活性化や企業誘致の拡大のため、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

鷹巣大館道路は、延長13.9kmの自動車専用道路で、平成18年度から用地買収及び工事に着手し事業を進めています。





▲大館市大子内地区から北秋田市方向を望む



▲工事中の摩当山トンネル

平成21年度の予定

○北秋田市脇神～栄間においては用地買収の継続推進を図ります。
○北秋田市栄～大館市櫃崎間においては改良工事の継続推進及び、摩当山トンネル（延長3，336m）の掘削巻立の継続推進を図ります。

事　業　効　果

○既設道路での交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○三次救急医療施設（秋田市・弘前市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　大館西道路（直轄） （秋田県大館市）

事業着手：昭和57年度	完成・供用の目標年度：平成20年代

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、三次救急医療施設の60分圏域カバー率の拡大及び、地域産業の活性化や企業誘致の拡大のため、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

大館西道路は延長8.8kmの自動車専用道路で、大館南IC～大館市釈迦内までの4.6kmについては供用済みであり、残る2区間（延長4.2km）について事業を進めています。





▲（主）比内田代線から大館南IC方向を望む



▲大館北IC（仮称）付近から商人留地区を望む

平成21年度の予定

○大館市櫃崎～大館南IC間においては改良工事の継続推進を図ります。
○大館北IC（仮称）～大館市商人留間においては改良工事の継続推進及び橋梁2箇所（釈迦内こ道橋：延長103m、釈迦内こ線橋：延長163m）の継続推進を図ります。

事　業　効　果

○交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○三次救急医療施設（秋田市・弘前市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。

事業名	日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂（新直轄） （秋田県大館市～鹿角郡小坂町）

事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成20年代

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

秋田県北地域においては、一般国道7号の交通混雑の緩和及び高速交通ネットワーク形成による県内及び北東北3県との地域間交流の促進、リサイクルポート能代港・大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

「事業の概要」

日本海沿岸東北自動車道大館北～小坂は大館市と鹿角郡小坂町を結ぶ延長14kmの区間であり、延長の75％が橋梁及びトンネルとなっています。

平成16年度から新直轄方式により国土交通省で事業を進めています。





▲大館側から小坂地区（小坂JCT部）を望む



▲施工中の雪沢第一トンネル

平成21年度の予定

○改良工事及びトンネル2箇所（大茂内第二トンネル：延長2，988m、雪沢第一トンネル：延長2，553m）の掘削巻立の継続推進を図ります。

事　業　効　果

○高速交通ネットワークによる広域観光ルートが拡大します。
○エコタウン（秋田県北地域エコタウン計画）とリサイクルポート能代港の結節が強化されます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　西扇田（にしおうぎだ）交差点改良（直轄） （秋田県能代市）

事業の必要性・事業の概要

秋田県



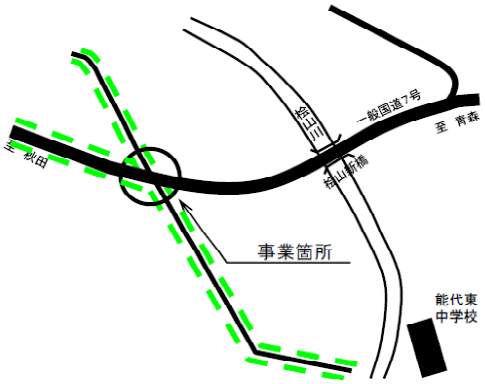
「事業の必要性」

一般国道7号の能代市扇田（おうぎだ）地内の当該箇所は、国道と市道が交差している交差点であり、右折レーンが無いため、右折待ち車両への追突、右折車と対向車の衝突事故が発生している。このため、交差点改良事業による交通事故防止及び交通の円滑化が求められています。

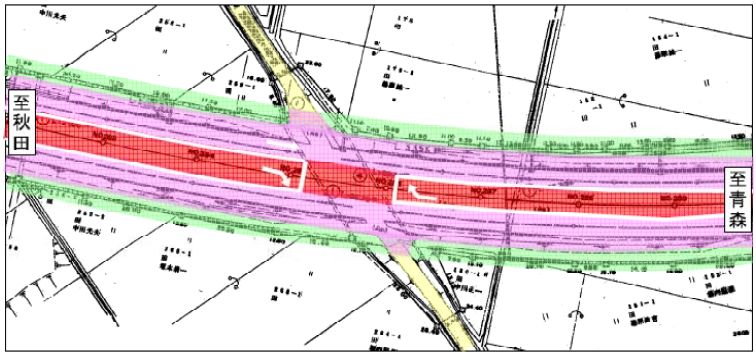
「事業の概要」

事故削減のため上下線に右折レーンを新設するとともに、当該箇所は通学路区間でもあることから、歩道・路肩の拡幅により冬期間の歩行空間の確保を図ります。

【事業箇所図】

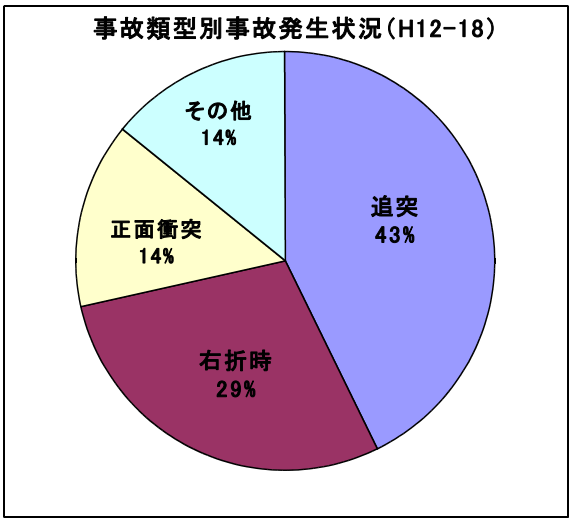


【事業計画平面図】





▲右折待ち車両が後続車の障害となっている



右折待ち車両が原因による追突と右折時の事故が約7割を占める

平成21年度の予定

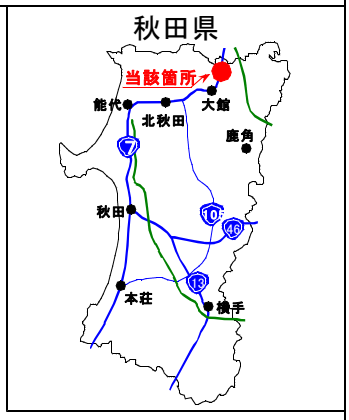
○平成21年度は、工事を推進し完成を図ります。

事　業　効　果

○右折レーンの新設により交通事故を削減します。
○歩道・路肩部の拡幅により堆雪帯を確保し、冬期歩行空間の確保や冬期旅行速度の低下を解消します。

事業名	一般国道7号　陣場視距改良（直轄） （秋田県大館市）

事業の必要性・事業の概要

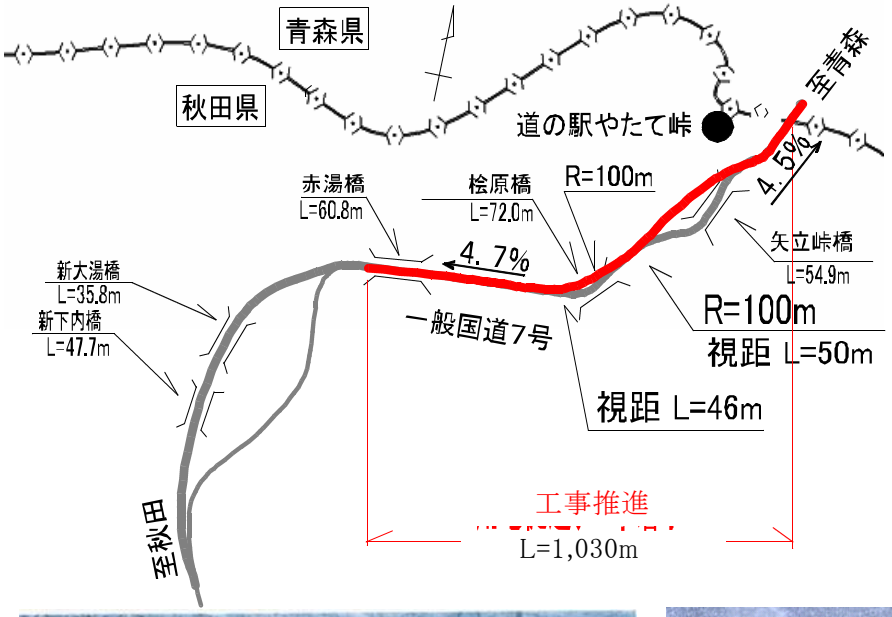


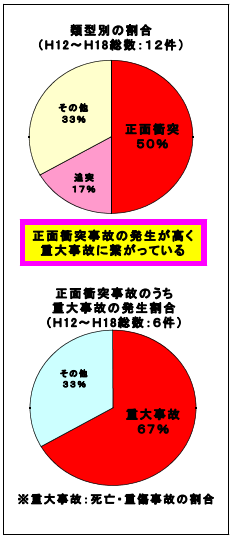
「事業の必要性」

一般国道7号の青森県境にある大館市矢立峠は、山地部を通過する道路で、急カーブ、急勾配区間が連続しており、十分な視距も確保されておりません。特に冬期の滑走による衝突や追突事故等が発生しており、事故防止及び交通の円滑化が求められています。

「事業の概要」

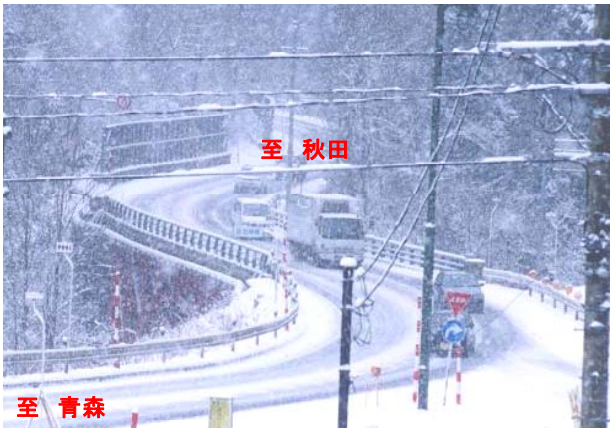
陣場視距改良は、線形改良により急カーブ、急勾配を解消し、交通事故の削減と交通の円滑化を図ります。







▲冬期交通状況



▲急カーブが連続する矢立峠

平成21年度の予定

○平成21年度は、引き続き改良工事を継続推進します。

事　業　効　果

○線形不良解消：急カーブ、急勾配の解消により、安全性が向上し交通事故の削減が図られます。
○定時走行確保：線形改良により走行速度の低下を軽減し、定時性の確保が図られます。
○堆雪帯の確保：冬期間の車線幅を確保するため路肩部の堆雪帯を拡幅し、安全性の向上と冬期旅行速度の低下を軽減します。